

けんぱくものしりシート

おはじき



ワア～！おはじき！
いっぱいあってキレイ！

ハクちゃん



ホントだ！でも、どうして、
おはじきっていうのかな？

ケンくん



どうしてかという、小さな玉を
指先ではじいて遊ぶでしょ。
それで「おはじき」と呼ぶのよ。

解説員



ガラスのおはじきは、いつごろから使われたの？



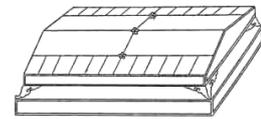
明治時代（1868～1912年）の終わりごろから使われ始めました。「おはじき」と呼ばれるようになったのも、このガラスのおはじきが登場してからのことなのよ。
おはじきは、女の子の遊びだったから、ハクちゃんのおばあさまやひいおばあさまも、小さいころ遊んだことがあるかもしれないわね。きれいなガラスのおはじきは、集めることも楽しくて女の子の宝物だったのよ。



おはじきは、むかしからある遊びなの？



そうなのよ。古くは奈良時代（710～794年）の初めごろにさかのぼり、このころ「弾碁」（または「だんぎ」というおはじき遊びが、中国から伝わってきたの。この遊びは、四角い盤の上に白と黒の石をならべて、その石をはじいて相手の石にあてて、石を取りあう遊びなのよ。平安時代（794～1185年）にも身分の高い人の遊びだったわ。江戸時代（1603～1868年）には、多くの人びとに広まり、おはじきは女の子の遊びになっていくのよ。当時は、小石や貝がら、木の実や、ねんどを型ぬきして焼いて色づけした小さな人形やお面なども、はじいて遊んでいたわ。なかでも、きさごという小さなまき貝を使った「きしゃごはじき」は大人気だったのよ。



弾碁の盤



きさご

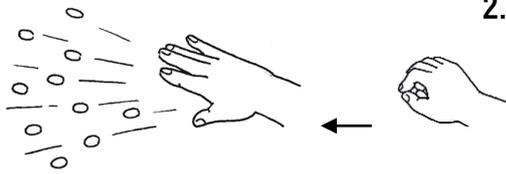
【出典：参考*】



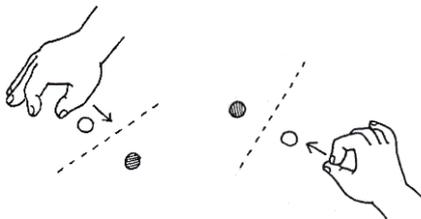
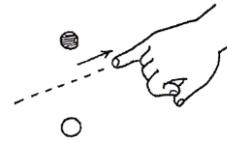
ここで、おはじきの遊び方を紹介しますね。いろいろな遊び方があるなかから、よく知られている遊びを紹介します。お友だちと一緒に遊んでね。

●●おはじきの遊び方●●

1. 何個出しにするかを決めて、おはじきを出しあいます。
2. ジャンケンをして順番を決め、はじめの人が全部のおはじきを片手に入れて、1~2回左右にふってパッとまき散らします。おはじきが重なった時は、次の人と交代します。

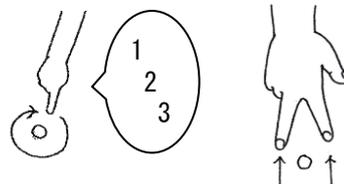


3. はじきやすいおはじきを2個決めて、その間に小指か人差し指で線を引きます。これを「しきり」といいます。指がおはじきにふれたら、しっぱいで次の人と交代します。



4. 2つのおはじきの1個を、親指か人差し指ではじいて、もう1個にあてます。あたったらその間をしきって、好きなほう1個を自分のものにして続けます。あたらなかったり、ほかのおはじきにもあたったり、しきる時指がおはじきにふれた時は、次の人と交代です。

5. 最後に残った1個のおはじきは、目をつぶって、人差し指でおはじきの周りを3周し、人差し指と中指の間を通して取ります。指がおはじきにふれた時は、次の人と交代します。



おはじきをいちばん多く取った人の勝ちです。



これから、おはじきで遊びましょう！



あそぼう！あそぼう！



※遊び方のルールは地方によっていろいろあります。

参考 『おはじき』 文溪堂 2017年 / 『やってみよう！むかしのあそび3 おはじき・ビー玉』 株式会社ポプラ社 2016年 / 『岩手県につたわるこどもの遊び』 株式会社光文書院 1985年 / * 『原色 日本貝類図鑑』 保育社 1978年 他

来月(1月)の
けんぱくものしりシートは
地質-16だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>